【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第４項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第33期第３四半期（自　平成24年10月１日　至　平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　中島　將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番２号
【電話番号】	03（3498）1541(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役　　加藤　康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目１番３号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役　　加藤　康二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

１【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年２月13日に提出した第33期第３四半期（自　平成24年10月１日　至　平成24年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

２【訂正事項】

第一部　企業情報
　第１　企業の概況
　　１　主要な経営指標等の推移
　第２　事業の状況
　　３　財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
　　（１）業績の状況
　　（２）財政状態
　第４　経理の状況
　　２．監査証明について
　　１　四半期連結財務諸表
　　（１）四半期連結貸借対照表
　　（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
　　四半期連結損益計算書
　　第３四半期連結累計期間
　　四半期連結包括利益計算書
　　第３四半期連結累計期間
　　注記事項
　　（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）
　　（セグメント情報等）
　　セグメント情報
　　（１株当たり情報）
独立監査人の四半期レビュー報告書

３【訂正箇所】

訂正箇所は＿＿＿線で示しております。

第一部　【企業情報】

第１　【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

（訂正前）

回次	第32期 第３四半期 連結累計期間	第33期 第３四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成23年 ４月１日 至平成23年 12月31日	自平成24年 ４月１日 至平成24年 12月31日	自平成23年 ４月１日 至平成24年 ３月31日
売上高（百万円）	24,936	25,576	34,695
経常利益（百万円）	425	714	846
四半期（当期）純利益（百万円）	285	366	587
四半期包括利益又は包括利益（百万円）	67	668	372
純資産額（百万円）	5,517	6,229	5,823
総資産額（百万円）	14,820	14,539	16,224
１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	21.05	27.05	43.28
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	－	－	－
自己資本比率（％）	34.3	39.7	33.1

回次	第32期 第３四半期 連結会計期間	第33期 第３四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 10月１日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月１日 至平成24年 12月31日
１株当たり四半期純利益金額（円）	3.61	10.99

（省略）

（訂正後）

回次	第32期 第３四半期 連結累計期間	第33期 第３四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成23年 ４月１日 至平成23年 12月31日	自平成24年 ４月１日 至平成24年 12月31日	自平成23年 ４月１日 至平成24年 ３月31日
売上高（百万円）	24,936	25,576	34,695
経常利益（百万円）	444	726	871
四半期（当期）純利益（百万円）	299	375	649
四半期包括利益又は包括利益（百万円）	86	680	455
純資産額（百万円）	5,359	6,146	5,728
総資産額（百万円）	14,662	14,456	16,129
１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	22.10	27.70	47.87
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	－	－	－
自己資本比率（％）	33.8	39.5	32.8

回次	第32期 第３四半期 連結会計期間	第33期 第３四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 10月１日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月１日 至平成24年 12月31日
１株当たり四半期純利益金額（円）	3.96	11.20

（省略）

第２　【事業の状況】

３【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（１）業績の状況

（訂正前）

（省略）

利益面では「アイコン」等が順調に拡大したことで利益率が改善したことも加わって売上総利益が前年同期比380百万円増加（前年同期比5.4％増）しました。一方で販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの事務所再編等による地代家賃の減少やのれんの償却費の減少により前年同期比165百万円の増加（前年同期比2.5％増）にとどまったことで、営業利益は630百万円（同51.7％増）、また、持分法による投資損益の改善等により経常利益は714百万円（同67.8％増）となりました。

なお、四半期純利益は税金費用の増加等により366百万円（同28.5％増）となりました。

（省略）

（訂正後）

（省略）

利益面では「アイコン」等が順調に拡大したことで利益率が改善したことも加わって売上総利益が前年同期比380百万円増加（前年同期比5.4％増）しました。一方で販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの事務所再編等による地代家賃の減少やのれんの償却費の減少により前年同期比172百万円の増加（前年同期比2.6％増）にとどまったことで、営業利益は641百万円（同47.8％増）、また、持分法による投資損益の改善等により経常利益は726百万円（同63.3％増）となりました。

なお、四半期純利益は税金費用の増加等により375百万円（同25.4％増）となりました。

（省略）

（２）財政状態

（訂正前）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,685百万円減少し14,539百万円となりました。

流動資産は9,405百万円となり、前連結会計年度末比1,949百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が1,045百万円、受取手形及び売掛金が1,366百万円減少したためです。

固定資産は5,132百万円となり、前連結会計年度末比265百万円の増加となりました。これは主としてのれんの償却等により無形固定資産が139百万円減少したのに対して、有形固定資産が98百万円、保有有価証券の時価上昇に伴う投資有価証券の増加等により投資その他の資産が307百万円増加したためです。

流動負債は6,107百万円となり、前連結会計年度末比1,706百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1,339百万円、短期借入金が177百万円減少したためです。

固定負債は2,202百万円となり、前連結会計年度末比385百万円の減少となりました。これは主として償還期間が１年以内となったことにより流動負債に振替えられた社債が300百万円あったことに加え、長期借入金が147百万円減少したためです。

純資産は6,229百万円となり、前連結会計年度末比406百万円の増加となりました。これは主として配当により203百万円減少したのに対し、第３四半期純利益を366百万円計上したことに加え、保有有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が247百万円増加したためです。

（訂正後）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,673百万円減少し14,456百万円となりました。

流動資産は9,405百万円となり、前連結会計年度末比1,949百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金が1,045百万円、受取手形及び売掛金が1,366百万円減少したためです。

固定資産は5,050百万円となり、前連結会計年度末比277百万円の増加となりました。これは主としてのれんの償却等により無形固定資産が127百万円減少したのに対して、有形固定資産が98百万円、保有有価証券の時価上昇に伴う投資有価証券の増加等により投資その他の資産が307百万円増加したためです。

流動負債は6,107百万円となり、前連結会計年度末比1,706百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1,339百万円、短期借入金が177百万円減少したためです。

固定負債は2,202百万円となり、前連結会計年度末比385百万円の減少となりました。これは主として償還期間が１年以内となったことにより流動負債に振替えられた社債が300百万円あったことに加え、長期借入金が147百万円減少したためです。

純資産は6,146百万円となり、前連結会計年度末比418百万円の増加となりました。これは主として配当により203百万円減少したのに対し、第３四半期純利益を375百万円計上したことに加え、保有有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が247百万円増加したためです。

第４　【経理の状況】

２．監査証明について

（訂正前）

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第３四半期連結会計期間（平成24年10月１日から平成24年12月31日まで）及び第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

（訂正後）

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第３四半期連結会計期間（平成24年10月１日から平成24年12月31日まで）及び第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の４の７第４項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1 【四半期連結財務諸表】

（1）【四半期連結貸借対照表】

（訂正前）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
（中略）		
固定資産		
有形固定資産	974,802	1,073,122
無形固定資産		
のれん	626,805	502,490
その他	204,528	189,112
無形固定資産合計	831,333	691,603
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,645	2,549,503
その他	1,302,082	1,199,604
貸倒引当金	△405,861	△381,175
投資その他の資産合計	3,060,866	3,367,932
固定資産合計	4,867,001	5,132,658
繰延資産	2,352	825
資産合計	16,224,284	14,539,029
（中略）		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△2,144,398	△1,982,377
自己株式	△101,663	△101,663
株主資本合計	4,392,712	4,554,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973,175	1,220,932
為替換算調整勘定	△1,883	△797
その他の包括利益累計額合計	971,292	1,220,134
新株予約権	855	4,190
少数株主持分	458,228	450,346
純資産合計	5,823,088	6,229,404
負債純資産合計	16,224,284	14,539,029

（訂正後）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
（中略）		
固定資産		
有形固定資産	974,802	1,073,122
無形固定資産		
のれん	532,384	419,872
その他	204,528	189,112
無形固定資産合計	736,913	608,985
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,645	2,549,503
その他	1,302,082	1,199,604
貸倒引当金	△405,861	△381,175
投資その他の資産合計	3,060,866	3,367,932
固定資産合計	4,772,581	5,050,040
繰延資産	2,352	825
資産合計	16,129,864	14,456,411
（中略）		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△2,215,582	△2,044,663
自己株式	△101,663	△101,663
株主資本合計	4,321,528	4,492,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973,175	1,220,932
為替換算調整勘定	△1,883	△797
その他の包括利益累計額合計	971,292	1,220,134
新株予約権	855	4,190
少数株主持分	434,991	430,013
純資産合計	5,728,668	6,146,786
負債純資産合計	16,129,864	14,456,411

（２）【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第３四半期連結累計期間】

（訂正前）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	24,936,787	25,576,188
売上原価	17,888,453	18,147,524
売上総利益	7,048,333	7,428,664
販売費及び一般管理費	6,632,956	6,798,604
営業利益	415,376	630,059
（中略）		
経常利益	425,782	714,345
（中略）		
税金等調整前四半期純利益	407,122	631,964
法人税、住民税及び事業税	89,613	179,782
法人税等調整額	33,996	32,972
法人税等合計	123,609	212,755
少数株主損益調整前四半期純利益	283,513	419,209
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△1,940	52,342
四半期純利益	285,453	366,867

（訂正後）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	24,936,787	25,576,188
売上原価	17,888,453	18,147,524
売上総利益	7,048,333	7,428,664
販売費及び一般管理費	6,613,996	6,786,802
営業利益	434,337	641,862
（中略）		
経常利益	444,742	726,148
（中略）		
税金等調整前四半期純利益	426,083	643,767
法人税、住民税及び事業税	89,613	179,782
法人税等調整額	33,996	32,972
法人税等合計	123,609	212,755
少数株主損益調整前四半期純利益	302,473	431,012
少数株主利益	2,725	55,246
四半期純利益	299,748	375,765

【四半期連結包括利益計算書】

【第３四半期連結累計期間】

（訂正前）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	283,513	419,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215,260	248,049
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,133	1,085
その他の包括利益合計	△216,393	249,135
四半期包括利益	67,119	668,344
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,277	615,709
少数株主に係る四半期包括利益	△2,158	52,634

（訂正後）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	302,473	431,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215,260	248,049
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,133	1,085
その他の包括利益合計	△216,393	249,135
四半期包括利益	86,080	680,147
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,572	624,607
少数株主に係る四半期包括利益	2,507	55,539

【注記事項】

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

（訂正前）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
減価償却費	249,551千円	196,166千円
のれんの償却額	143,091千円	124,214千円

（訂正後）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
減価償却費	249,551千円	196,166千円
のれんの償却額	124,130千円	112,412千円

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

（訂正前）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

（省略）

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	525,415
「その他」の区分の利益	7,272
セグメント間取引消去	△16,004
のれん償却額	△110,314
棚卸資産調整額	9,008
四半期連結損益計算書の営業利益	415,376

（省略）

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

（省略）

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	679,769
「その他」の区分の利益	22,624
セグメント間取引消去	3,477
のれん償却額	△75,811
棚卸資産調整額	－
四半期連結損益計算書の営業利益	630,059

（省略）

（訂正後）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

（省略）

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	525,415
「その他」の区分の利益	7,272
セグメント間取引消去	△16,004
のれん償却額	△91,353
棚卸資産調整額	9,008
四半期連結損益計算書の営業利益	434,337

（省略）

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

（省略）

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	679,769
「その他」の区分の利益	22,624
セグメント間取引消去	3,477
のれん償却額	△64,008
棚卸資産調整額	－
四半期連結損益計算書の営業利益	641,862

（省略）

（１株当たり情報）

（訂正前）

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
１株当たり四半期純利益金額	21円5銭	27円5銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	285,453	366,867
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	285,453	366,867
普通株式の期中平均株式数（千株）	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	――――	――――

（省略）

（訂正後）

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
１株当たり四半期純利益金額	22円10銭	27円70銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	299,748	375,765
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	299,748	375,765
普通株式の期中平均株式数（千株）	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	――――	――――

（省略）

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバル

取締役会　御中

優 成 監 査 法 人

指 定 社 員
業務執行社員　公認会計士　加 藤 善 孝　印

指 定 社 員
業務執行社員　公認会計士　須 永 真 樹　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成24年４月１日から平成25年３月31日までの連結会計年度の第３四半期連結会計期間（平成24年10月１日から平成24年12月31日まで）及び第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年12月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第３四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年２月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

（注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

２．四半期連結財務諸表の範囲にはＸＢＲＬデータ自体は含まれていません。